

2018年度

たんぼぼ保育園では、以下の点について保護者にアンケートを依頼し、その結果をふまえて自己評価を行いました。

・日々の保育について

- ・園が大切にしている「子どもによりそう」ということを、日常の中で保護者の方にも感じていただいている。
- ・幼児のたてわり保育では、コミュニケーションを学んでいる等のよさを感じていただいている反面、保育士がクラス全体に目が届いているのか心配しているというご意見もあり、保育士同士が連携して全体に配慮することが不十分であった。
- ・開園以来大切にしてきた散歩が子どもにとって身体の成長や感受性を育てていることを保護者の方も感じていただいている。地域の方に見守っていただき、この地域にある保育園として認めていただいている。
- ・日々の保育を保護者の方にも理解していただくよう懇談会等を設けてきた。職員一人一人が子どもの実践を書き、実践についてクラスでの話し合い、職員全体での話し合いをしてきた。

・行事について

- ・子ども達が主体となり、普段の活動の延長の行事になっていることを保護者の方に理解していただいている。大人が準備をしてしまう行事ではなく、子どもと一緒に作り出す行事になっている。
- ・親の出番が多くて大変、保護者負担を減らしてほしい、係の保護者の負担が偏っていないか心配とのご意見もあった。夏祭り等の出店など保護者のご協力が大きく、ご理解いただける伝え方が必要であった。
- ・運動会は0.1才児が最後までいるのが大変、夏祭りは熱中症が心配、1ヵ月前には詳細を知りたいというご意見があった。今年度の夏祭りの反省から時間の変更を検討している。また、行事の内容等の伝え方を見直す必要がある。
- ・行事ごとに保護者会がアンケートをとっている。それを参考に次の年の行事を考えている。今後も子どもがより楽しく、保護者の意見も取り入れた行事になるようにしていきたい。

・給食、おやつについて

- ・給食に子どもへの手紙が添えられていたりすることが、保護者の方にも伝わっていた。給食先生と子どもとの交流をつくり、給食室と保育室がつながって子どもと関わることができてきた。
- ・栄養バランスのよい給食、手作りおやつなどが好評であった。給食、おやつはおいしくてたんぼぼの自慢だと思っている。

・おたより、連絡ノート等で子どもの姿やお知らせが伝わっていますか？

- ・数年前に日々の様子が伝わりにくいという声をいただいたが、今回はよく伝わっていると

いう声が多くなった。保育者の伝えたい思いがあらわれたと思う。

・子どもは保育園をどう思っていると感じますか？

- ・思いきり遊べる場所、大好きな友達と会える場所、楽しくも怒られる場所でもある(笑)というのが保護者の方の子どもの思いの代弁である。その子らしく、自分の思いや、やりたいことが十分に叶えられる環境をつくる努力をしてきた。

・子どもの病気、けが等の対応や連絡について

- ・細かく伝えられている、引き継ぎもされているという声をいただいた一方、足の傷や湿疹のことが連絡ノートには書いてないことがあるというご意見もあった。傷等の確認や連絡できていなかったことを職員間で話し合い、今後そのようなことがないようにする必要がある。
- ・具合が悪い時に保育室で布団を敷いて寝ている子を見かけるが感染しないのか心配だというご意見をいただいた。子ども自身が安心できる場所を選んでいたが、感染しないような対策が必要であった。

・その他、保育園に対するご意見・ご要望などなんでもどうぞ。

- ・担当クラスの保育士だけでなく、園全体で子どもをみていることを保護者の方にも感じてもらっている。子どものことも職員間で共有できるよう話し合いをしてきた結果だと思われる。
- ・不審者対策として「引き渡しカード」を首から下げて関係者がわかるようにできないか検討してほしいというご意見をいただき、不審者対策の見直しを考えていきたい。
- ・感染症や食中毒等の心配があるため手洗い、うがい、マスク、消毒等声かけしてほしいというご意見をいただいた。子どもの手洗いの徹底や指導に取り組んでいく必要がある。
- ・保護者の集まりを夜に設定することは最低にしてほしいというご意見をいただいた。懇談会等、夜に設定することもあるため、なるべく短時間にできるような計画が必要である。
- ・災害時大谷川放水路が心配だというご意見をいただいた。数年前に防災講演会を行ったが、再度話を聞く機会を計画するとよいかもしい。